



# NEWS LETTER

男女共同参画の  
推進に向けて

## 名古屋市立大学男女共同参画室・女性研究者支援室

ニュースレター

# Vol.5

発行

名古屋市立大学男女共同参画室・女性研究者支援室 〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1  
TEL:052-853-8577 / FAX:052-853-8588 / E-MAIL:sankaku@sec.nagoya-cu.ac.jp  
URL:http://www.nagoya-cu.ac.jp/sankaku/

2012年11月

### NEWS

## ワーク・ライフ・バランス相談室 桜山キャンパスにオープン

### 話し始めてみませんか？

11月8日にワーク・ライフ・バランス相談室をオープンしました。

ワーク・ライフ・バランス相談室では、さまざまな悩みごとの相談を受けつけます。

- 仕事と家庭生活のバランス
- 妊娠・出産・育児・子育て
- 介護 ■ 研究室や職場の人間関係 など

利用日・時間：ホームページにカレンダーを掲載。  
まずは、電話かメールでご連絡ください。

[電話] 052-853-8589  
[mail] wlb-sodan@sec.nagoya-cu.ac.jp  
[HP] www.nagoya-cu.ac.jp/sankaku/wlb-sodan/  
[場所] 桜山(川澄)キャンパス西棟3階南側  
[対象] 教職員、学生等(学部生を除く)。

★相談室ではさまざまな情報、資料も用意しています。



### 相談員からのメッセージ

10月よりワーク・ライフ・バランス相談室の相談員として着任しました。

専門は教育とリーダーシップおよび異文化教育です。ワーク・ライフ・バランスと聞いたとき、みなさんはどう思いますか？若い学生さんからは、「将来はぜひとも仕事と家庭をどちらも大事にしたいので賛成！」という楽しみと期待に満ちた声が聞こえそうです。一方で、保育園に子どもを預けながら働く研究者の方からは、「仕事と家庭のバランスがとれることなんてあるのでしょうか…」という問いかけが聞こえそうです。このように、「バランス」という言葉は、文字通り均衡を成し遂げることも、あるいは実際の生活者の視点にあるように、ぐらぐらしながらもなんとか崩れるのをまぬがれている状態とも解釈することができるのです。

内閣府は、ワーク・ライフ・バランスを「仕事と生活の調和」と日本語で定義し直しています。英語の「バランス」の訳語として「均衡」という直訳ではなく、「調和」という類義語が選ばれたことに私は興味を覚えました。「均衡」というと、ひとりの人間が孤独に仕事と家庭の間で奮闘する姿を想像します。一方で、「調和」というと、さまざまな人、ライフイベント、制度や社会資源などが複合的に絡み合って作り出されるよりよいシステムという、前向きなニュアンスが感じられます。

そんな明るい希望をもって、みなさんの仕事と家庭生活の両立のお手伝いができることを楽しみにしています。



相談員：木下薫

### EVENT

## ハラスメント研修会

平成24年度名古屋市立大学ハラスメント研修会を開催します。講師は、東京大学学生ネットワーク本部学生相談所所長の倉光修先生です。倉光先生には臨床心理士の立場から、アカデミック・ハラスメントとはなにか、その予防や解決のためにはどうすればよいかなど、東京大学の事例をふまえてご説明いただきます。今回は、アカデミック・ハラスメントに特化したお話をさせていただく予定です。ぜひご参加ください。

【日時】平成24年11月29日(木)16:15~17:15

【場所】名古屋市立大学本部棟 4階大ホール ※当日はテレビ会議システムを利用します。

■ 滝子キャンパス 3号館101教室

■ 田辺通キャンパス 薬友会館3階水野ホール ■ 北千種キャンパス 図書館2階大講義室

【対象者】名古屋市立大学全教職員・学生

【講師】倉光修(東京大学学生相談所所長・教授)

【倉光先生の主な研究業績】『臨床心理学』岩波書店,1995./『カウンセリングの心理学』岩波書店,1999./『動機づけの臨床心理学—心理療法とオーダーメイド・テストの実践を通して』日本評論社,2000./『心理臨床の技能と研究』岩波書店,2003./『カウンセリングと教育—現場に役立つ統合的アプローチ』誠信書房,2011. など多数